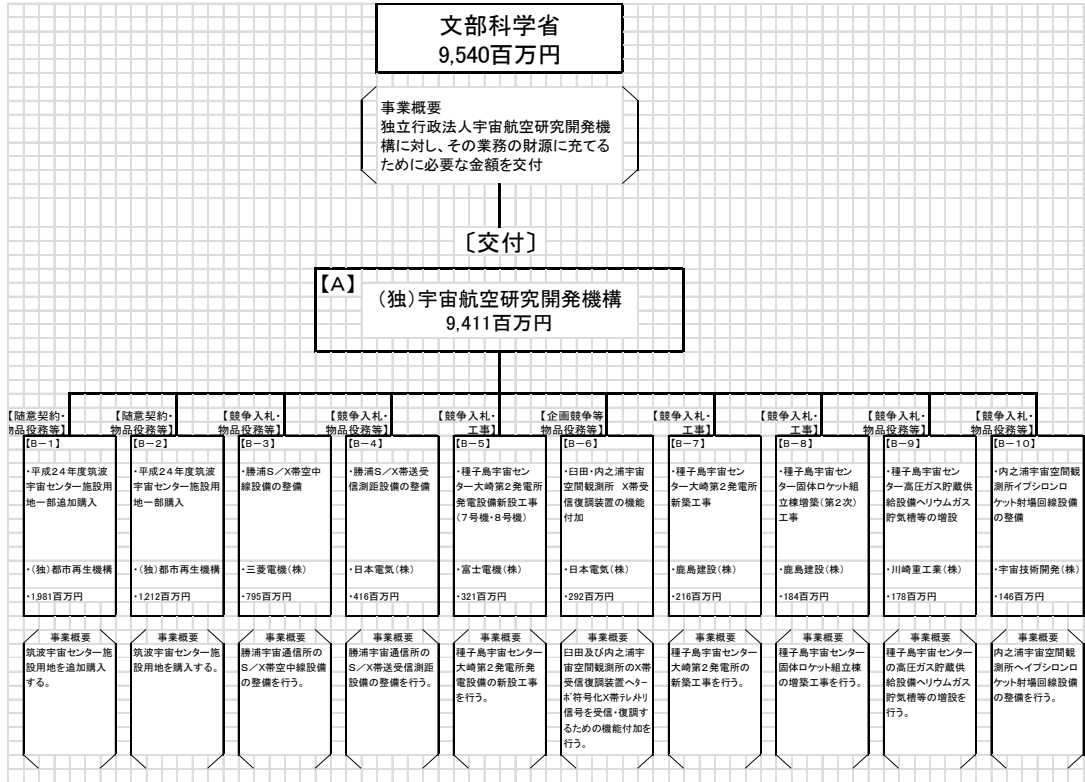


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人宇宙航空研究開発機構施設整備に必要な経費		担当部局庁	研究開発局		作成責任者	宇宙開発利用課長 柳 孝	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度～未定		担当課室	宇宙開発利用課				
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-6 宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	宇宙基本法 独立行政法人宇宙航空研究開発機構法第18条 第1項		関係する計画、通知等	独立行政法人宇宙航空研究開発機構第3期中期計画 宇宙基本計画(平成25年1月 宇宙開発戦略本部決定) 等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人宇宙航空研究開発機構の設置する施設の整備充実を図るために要する経費に対して補助を行い、もって宇宙科学に関する学術研究の発展、宇宙科学技術及び航空科学技術の水準の向上、宇宙の開発及び利用の促進に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人宇宙航空研究開発機構の設置する施設の整備充実を図るために要する経費に対して補助を行い、もって宇宙科学に関する学術研究の発展、宇宙科学技術及び航空科学技術の水準の向上、宇宙の開発及び利用の促進に寄与することを目的とする。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	6,328	7,532	7,096	2,174	3,439	
		補正予算	170	0	8,839	0		
		繰越し等	△ 746	622	△ 6,631	6,755		
	計	5,753	8,154	9,304	8,929	3,439		
	執行額	5,753	8,015	9,304				
執行率 (%)	100.0%	98.3%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	独立行政法人評価委員会による評価結果 (宇宙航空研究開発機構の行う事業は中期計画及び年度計画により定性的、定量的な目標を定めており、毎年度、独立行政法人評価委員会による達成度の評価を受けているため、これをもって成果実績とする。)		成果実績	A	S	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	施設設備の整備件数		活動実績 (当初見込み)	件	36	31	49 [うち3件は23年度からの継続]	(48) [うち4件は24年度からの継続]
単位当たりコスト	—		算出根拠	※(独)宇宙航空研究開発機構の事業を実施するうえで必要な施設・設備の整備・老朽化更新等を総合的に実施する補助金のため、単位当たりコストの算出は困難				
26年度 予算 予	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	独立行政法人宇宙航空研究開発機構施設整備費補助金		2,174百万円	3,439百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」323百万円			
	計		2,174百万円	3,439百万円				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、宇宙・航空に関する打上げ、追跡・管制、試験その他の研究開発に係る施設・設備の整備・老朽化更新等を行うものであり、国が実施すべき事業である。本事業により整備された施設・設備は、宇宙基本計画の実現に向けた研究開発の推進等に必要なるものであることから、優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	宇宙航空研究開発機構(JAXA)は第2期中期目標・計画に基づき、一般管理費の削減を図るとともに、新規に追加される業務と業務拡充等を除くその他の事業費を削減し、経費の合理化・効率化に取り組んでいる。また、支出先の選定に当たっては、宇宙開発の特殊性により、一定の一社応札が避けられないものもあるが、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとするなど、競争性・透明性を確保する取組みを続けている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	平成24年度打上げ計画に必要な施設の増改修等を行い平成24年度の事業を年度計画どおりに達成した。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	契約については、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとし、随意契約見直し計画を策定し、随意契約の件数・金額を着実に低下させている。また、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、電子入札システム、調達情報配信サービス、競争契約に係る仕様書を受領した業者を対象にウェブアンケートを実施するなどの改善を進めている。					
外部有識者の所見						
<p>本事業においては、宇宙航空研究開発機構における打上げ、追跡・管制、試験その他の研究開発に係る施設・設備の整備・老朽化更新等を着実に実施していると認められる。現行において特段の見直すべき内容は認められないが、一般競争入札における競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保するとともに、整備内容を精査することにより整備規模の適正化やコスト縮減を図り、今後とも引き続き効率的・効果的な事業の実施に努めるべきである。</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、宇宙・航空科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、人工衛星等の開発や打上げ等に取り組む宇宙航空研究開発機構の施設・設備の整備に必要な施設整備費補助金を支出するものであり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:平成24年度のレビューを指摘を踏まえ、契約の適正化に取り組むなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	<p>入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかを自己点検し、結果として一者応札・応募となった場合は、契約審査委員会で事後点検を実施している。また、競争契約に係る仕様書等を受領した業者を対象に、入札に関して意見を求めるウェブアンケートを実施している。更に、電子入札システムや調達情報メール配信サービスの利用拡大にも努め、競争性、公平性、透明性の確保を図っている。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	22-0331	平成23年	23-0308	平成24年	24-0325

※平成24年度実績を記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.宇宙航空研究開発機構			B-1.(独)都市再生機構		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務費	施設設備の整備・改修、施設設備の老朽化更新、用地の取得、セキュリティ対策施設設備の整備	9,411	その他	・平成24年度筑波宇宙センター施設用地一部追加購入	1,981
計		9,411	計		1,981
B-2.(独)都市再生機構			B-3.三菱電機(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	平成24年度筑波宇宙センター施設用地一部購入	1,212	役務	勝浦S/X帯空中線設備の整備	795
計		1,212	計		795
B-4.日本電気(株)			B-5.富士電機(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	勝浦S/X帯送受信測距設備の整備	416	工事	種子島宇宙センター大崎第2発電所発電設備新設工事(7号機・8号機)	321
計		416	計		321
B-6.日本電気(株)			B-7.鹿島建設(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
製作	臼田・内之浦宇宙空間観測所 X帯受信復調装置の機能付加	292	工事	種子島宇宙センター大崎第2発電所新築工事	216
計		292	計		216
B-8.鹿島建設(株)			B-9.川崎重工業(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	種子島宇宙センター固体ロケット組立棟増築(第2次)工事	184	製作	種子島宇宙センター高圧ガス貯蔵供給設備ヘリウムガス貯気槽等の増設	178
計		184	計		178
B-10.宇宙技術開発(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	内之浦宇宙空間観測所イプシロンロケット射場回線設備の整備	146			
計		146	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率※
1	(独)都市再生機構	筑波宇宙センター施設用地を追加購入する。	1,981	随意契約	-
2	(独)都市再生機構	筑波宇宙センター施設用地を購入する。	1,212	随意契約	-
3	三菱電機(株)	勝浦宇宙通信所のS/X帯空中線設備の整備を行う。	795	2	-
4	日本電気(株)	勝浦宇宙通信所のS/X帯送受信測距設備の整備を行う。	416	2	-
5	富士電機(株)	種子島宇宙センター大崎第2発電所発電設備の新設工事を行う。	321	1	-
6	日本電気(株)	臼田及び内之浦宇宙空間観測所のX帯受信復調装置ヘターボ符号化X帯テレメトリ信号を受信・復調するための機能付加を行う。	292	1	-
7	鹿島建設(株)	種子島宇宙センター大崎第2発電所の新築工事を行う。	216	3	-
8	鹿島建設(株)	種子島宇宙センター固体ロケット組立棟の増築工事を行う。	184	1	-
9	川崎重工業(株)	種子島宇宙センターの高圧ガス貯蔵供給設備ヘリウムガス貯気槽等の増設	178	2	-
10	宇宙技術開発(株)	内之浦宇宙空間観測所ヘイプシロンロケット射場回線設備の整備を行う。	146	1	-

※同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表としている。